



# 支援員だより

発行者：山口県・公益財団法人山口県ひとづくり財団

## もくじ

- P 1 支援員さんの声
- P 2 節分草の想い
- P 3 オオサンショウウオについて
- P 4 研修会のご案内、お知らせ

## 支援員さんの声

日々の観察の中で発見したことや活動での思いなどをお寄せいただきました。

### 「定点観察の実施による発見」

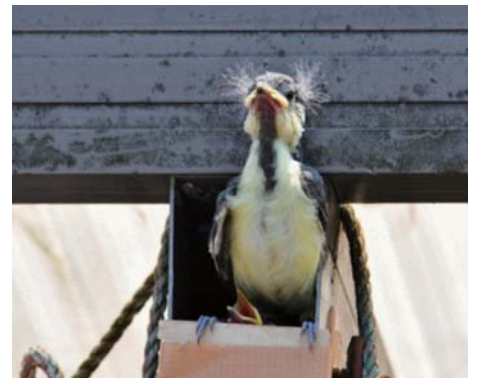
野鳥の会 大野 伸夫

支援員研修会で講師から、「自分が観察し易い場所を定期的に観察していると必ず何か見付かる」とのアドバイスを頂きました。私は家庭菜園に軽トラックで行く事が日課の為、自宅や通路周辺を定点観察の場として観察を続けています。お蔭で多くの珍しい野鳥や昆虫、植物を見付け写真に収めたり、散歩中の人や農家の人とも野鳥・植物・花等について話をしています。私の撮った写真は、写真同好会員と共に近くの郵便局ロビーに常時掲示し、時には野鳥や動植物の写真に説明文をつけ、来訪者に見てもらっています。

#### ○ 自宅簡易車庫でシジュウガラが営巣

昨年6月中旬、車庫の梁(角パイプ)にシジュウガラが入り込んでいたので、静かに見守っていました。時には幼児が棒切れで支柱を叩いて遊んでいた事もありましたが、小鳥のいる事を話し「可愛がってね」と言うとうすぐ納得しました。

そして7月10日の早朝、急に親鳥が騒々しくなり、巣立ちが始まりました。親鳥が大きな声で誘うと、雛は巣穴の上に止まり、落ちるように降りていき、15分位経つと幼稚に近くの木に飛び移ります。5羽の雛が、次々と飛び降り巣立ち終えたのは10時頃でした。しかし、一羽の雛は飛び降りた際に負傷したのか動かず、塀の上に移してやりましたが回復しない為、庭の片隅に葬り、小石を乗せ手を合わせました。



#### ○ アマガエルの餌探し

9月18日の夕方、通路の川土手で彼岸花の芽が草を被って伸びていたので取り除いてやりました。翌朝は大雨でしたが、昨日の彼岸花が数輪開花しており、上で何か青い物が飛び跳ねた気がしたので近寄るとアマガエルでした。写真に収めて畑に着いた後に写真を見てみると、大きな昆虫を掴んでいました。残念。なぜ現地を確認し、食べる所を見なかったのかと反省しきりでした。



#### ○ 探鳥会がカジカガエルの観察会に

今年6月、鹿野地区で「野鳥の会」の探鳥会がありましたが、野鳥の数が少なく失望していました。しかし、会員が所有する溪流に着くと満開のエゴの花の下で爽やかなカジカガエルの声が聞こえてきました。

参加者全員でカエル探しとなり、水辺の石の上に散ったエゴの花の傍で鳴いているカジカガエルを見付け、大いに盛り上がりました。その後で、野鳥数減少の事などを含め、色々語り合いました。



◎ 今後は今まで以上に自然との関わりを深め、新たにギフ蝶の繁殖・放蝶を早期に実現できる事を夢見て幼虫の餌となるカンアオイの栽培増殖を行っていこうと思います。

**節分草**は2月から3月に小さな花を咲かせる高さ10cmほどの多年草の希少植物で、山口県では平成21年に岩国市錦町古市で自生地が初めて発見されました。この節分草の保護活動等を行うため、平成22年に地域住民を中心に「古市節分草保存会」が設立され、草刈り等の作業が実施されています。

今回は、保存会事務局の林節司さんに寄稿していただきました。いまの「節分草の想い」を林さんが綴っておられます。

## “節分草の想い”

古市節分草保存会事務局 林 節司

私たちは、地域の人たちが長年にわたり里山を手入れしてきたお陰で、生き延びてくることができました。

しかし、最近、地主の高齢化などの理由で、里山が荒廃、雑草地化し、私たちは絶滅の危機に瀕していました。ところが、2009年2月3日節分の日、ある人が私たちのそばを通りかかった時、私たちは必死の思いで、その人の方に一斉に振り向きました。すると偶然目が合いました。今までにも何人かの人が通りすぎましたが、誰にも気づいてもらえませんでした。

その人は、“ごめんね”と言って、一輪持って帰りました。

図鑑で調べ専門家などに聞くと、それは、「セツブンソウ」ということになりました。

環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定され、私たちの仲間は徐々に少なくなっているようです。また、山口県では初めて確認され、西南限（現在は広島県庄原市総領町と言われています）が変わるかもしれないと大騒ぎになっているようです。

私たちは、これで一応ホッとしています、これからが大変だと思います。

節分草保存会も立ち上がったと聞いています。周辺の草刈作業、地域住民への啓発、保存体制づくり、また、心無い「花泥棒」対策等々。

私たちも一生懸命頑張ります。

私たちにはできることは、精いっぱい咲き誇り、種を残し、命をつないでいくことだけです。

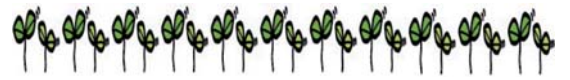
かよわい私たちです。どうか、みなさん、地域をあげ、市をあげ、県をあげて私たちを守ってください。

“林の中で、節分草保存を司る” 林 節司





# オオサンショウウオについて



山口県自然保護課

オオサンショウウオは、現存する両生類の中では最大級のもので、ヨーロッパでは化石として発見されているだけでしたが、江戸時代の終わり頃、オランダ長崎商館の医師として来日していたシーボルトが、三重県鈴鹿山中で捕えたオオサンショウウオをヨーロッパに持ち帰って学会を驚かせ、それ以来、日本のオオサンショウウオは「生きる化石」として世界の関心を集めることになりました。

昭和27年には、文化財保護法による国の特別天然記念物に指定され、捕獲禁止等の保全措置が講じられています。山口県では、錦川支流の限られた清流でしか確認されておらず、レッドデータブックやまぐちでは絶滅危惧ⅠA類に分類されています。

オオサンショウウオの名前の由来は、「山に生きる魚」、「山椒のにおいがする」、「皮膚の模様と小さな突起が山椒の木肌に似ている」など様々な説がありますが、中国地方では、「ハンザキ」とか「ハンザケ」とも呼ばれています。体長は、野生個体の大半が50cm前後ですが、1.5mを超えた例もあり、広島市安佐動物公園には全長150.5cm、鳥取県立博物館には体重44.3kgの標本が展示されています。



オオサンショウウオの生息地（岩国市錦町）

## 《生息地での取組》

防府市にある高川学園中学校・高等学校科学部では、岩国市錦町の錦川支流の宇佐川で継続的に生息調査や保護活動を行っています。

現地調査では、マイクロチップにより個体識別を行い、生息個体数の確認や外部形態の計測、水温・水質検査などの環境調査を行っています。

このような子どもたちの活動は、地元にも広がり、平成23年6月、宇佐川のオオサンショウウオの保

護活動や生息環境の保全活動などを行うため、地域住民有志による「錦川オオサンショウウオの会」が発足しました。定期的に勉強会や現地観察会を開催され、オオサンショウウオ応援歌も発表されるなど、地元では、たいへんな盛り上りをみせています。

今年の9月29日(土)～30日(日)には、日本オオサンショウウオの会の第9回全国大会が、岩国市錦町で開催されます。全国からオオサンショウウオの保護活動を行っている研究者等が集まり、各地での取組の報告や生息地観察会が行われ、地域住民との交流会も開催される予定です。

オオサンショウウオは、川の中では食物連鎖の頂点に位置しています。食べ物となる魚や水生昆虫などが生息できる環境を保全していくことが、オオサンショウウオを保護することになり、生物多様性の保全につながります。

希少動植物種であるオオサンショウウオを取り巻く岩国市錦町での取組は、生物多様性の保全と地域の活性化を両立させる取組として今後が楽しみです。

オオサンショウウオの保護活動に興味のある方は、参加されてみてはどうでしょうか。

# 研修会のご案内

## ○第1回 平成24年10月20日(土)9:30~16:00

場 所：秋吉台エコ・ミュージアム、秋吉台少年自然の家周辺

講 師：田原義寛（秋吉台エコ・ミュージアム指導員、自然観察指導員）  
中沢妙子（自然解説者）

内 容：「草原ふれあいプロジェクト」の講義と現地観察  
秋吉台草原の現状、プロジェクト実施による草原の変化等の説明  
現地での観察  
「野外観察会～植物観察」  
秋吉台で秋に咲く花、リンドウ、センブリ、アザミ等の植物観察

## ○第2回 平成24年11月17日(土)10:00~16:00

場 所：岩国市 城山国有林(照葉樹林)

講 師：橋本順子、金丸恵子（環境パートナー、森林インストラクター）

内 容：岩国市の城山は、クス、カシ、シイ等の葉にツヤのある常緑広葉樹で構成される照葉樹林となっており、その植生は古来より保護されています。地域の気候条件等に最も適応し、長期にわたって安定した状態に達した森林「極相林」を歩きます。



みなさんのご参加をお待ちしております。



## お知らせ



### ◇「子どもレンジャークラブ」会員募集 〈きらら浜自然観察公園〉

子どもレンジャークラブは、自然観察を通じて、子どもたちの自然への関心や、豊かな心を育てるプログラムであり、バードウォッチングや昆虫観察、干潟の生きもの観察、工作など、年間を通じて楽しく自然を知る内容が予定されています。

- ・対 象 小学校3～6年生（子どものみで参加できる人）
- ・開催日時 毎月第3日曜日 10時～11時30分（雨天時も実施）
- ・集合場所 きらら浜自然観察公園ビジターセンター
- ・その他 事前申込不要、参加費無料、定員なし、毎回参加できなくても可

### ◇行事案内

- ・8月11日（土） ツバメのねぐら入り観察会
- ・9月 8日（土） 鳴く虫観察会
- ・10月13日（土） ショウドウツバメのねぐら入り観察会

※問い合わせ先 きらら浜自然観察公園（TEL 0836-66-2030）

発行元：（公財）山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター  
〒754-0893 山口市秋穂二島1062 TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720  
<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

